



令和6年度 しまねソフト研究開発センター事業説明

- 2024年5月29日
- しまねソフト研究開発センター

しまねソフト研究開発センター事業の経緯

ITOC
ミッション

IT分野での技術発展と
オープンイノベーションの
加速による新事業創出支援



新型コロナウイルスの影響もあり、
県内既存産業に向けたDX推進、
県内IT企業のDX対応への支援強化



県内IT企業と県内ユーザ企業
との共創によるビジネスモデル
変革へチャレンジを支援

H27年度～



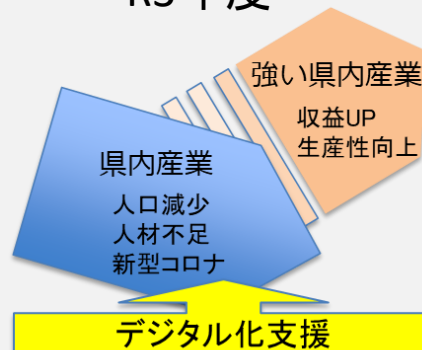
オープンイノベーションの加速、新商品・サービス創出支援を行うため、先駆的研究テーマとして、機械学習、mruby/cを掲げ、技術支援、人材育成に取り組む。

R1年度～



新たなサービス創出に向けて、技術支援に加えて、“島根らしい課題”に着目。R1年度からIT企業×異業種「ITOC X-Techラボ」を実施。事業化支援を強化。

R3年度～



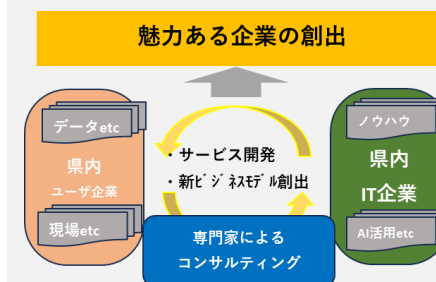
新型コロナの影響で地域産業は苦境。この現状をデジタル化で打開するため、新たに中小企業のデジタル化支援として、「しまねデジタルイノベーション推進事業」をスタート。

R4年度～



新事業創出や県内企業のデジタル化支援に加えて、拡大するDX市場に県内IT企業がチャレンジしていくため、開発手法、先端技術、アーキテクトの面からITOCがサポート。

R6年度～



ITを活用した技術発展とオープンイノベーション加速のため、IT企業とユーザ企業の共創による新たなサービス創出・DX実現のためのモデル支援をスタートする。

しまねソフト研究開発センター事業紹介

事業創出支援

- 新事業創出アドバイス支援
 - ・情報産業アドバイザーによる支援



- 新事業創出モデル支援
 - ・IT企業と非IT企業のプロジェクトを専門家による伴走支援
 - ・データ活用実証事業

- 専門研究員
 - ・機械学習やデータ活用に関する支援
 - ・モデル創出支援を技術面でサポート



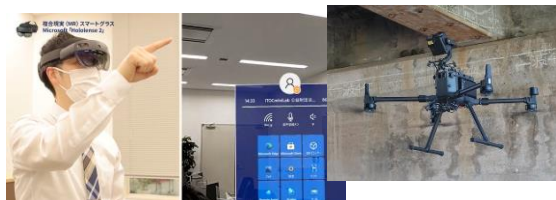
事業創出支援

- 新事業創出助成金
 - ・IT活用事業化助成金
 - ・開発ソフト販路拡大支援助成金

- X-Tech (IT×異業種)
 - ・IT企業と様々な業種の企業をマッチング



- XR・ドローン利活用支援
 - ・先端機器アドバイザーによる相談対応
 - ・VR/MR/スマートグラス等体験会の実施



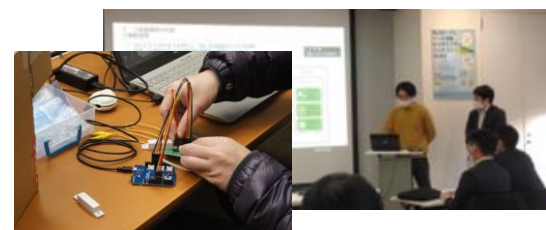
先端技術支援

- IoT
 - ・IoT専門研究員による技術支援
 - ・IoT向けプログラミング言語開発



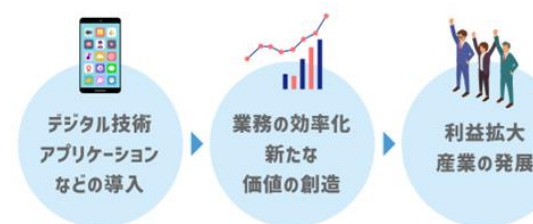
企業の人材育成支援

- 人材育成講座
 - ・事業創出にフォーカスした実践的講座

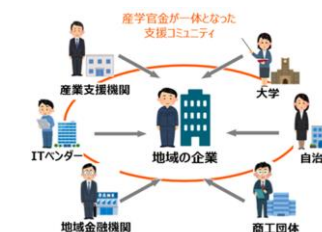


デジタル・DX支援

- しまねDX推進事業
 - ・IT経営相談会
 - ・Webマーケティング相談会
 - ・専門家派遣事業



- しまね地域DX拠点
 - ・DX推進コーディネータによる支援
 - ・DX計画の策定伴走支援



1.新事業創出モデル支援

県内IT企業と県内ユーザ企業の共創によるビジネスモデル創出

(県内IT企業(及びユーザ企業)が自らビジネスモデル変革とその取組みへの投資を促す)

事業スキーム

①県内IT企業・県内ユーザ企業へのヒアリング
(新規事業創出のモチベーションが必須)



②両者によるプロジェクトを立ち上げ、ITと
ビジネスに精通する専門家による伴走支援
(※支援企業は公募予定)

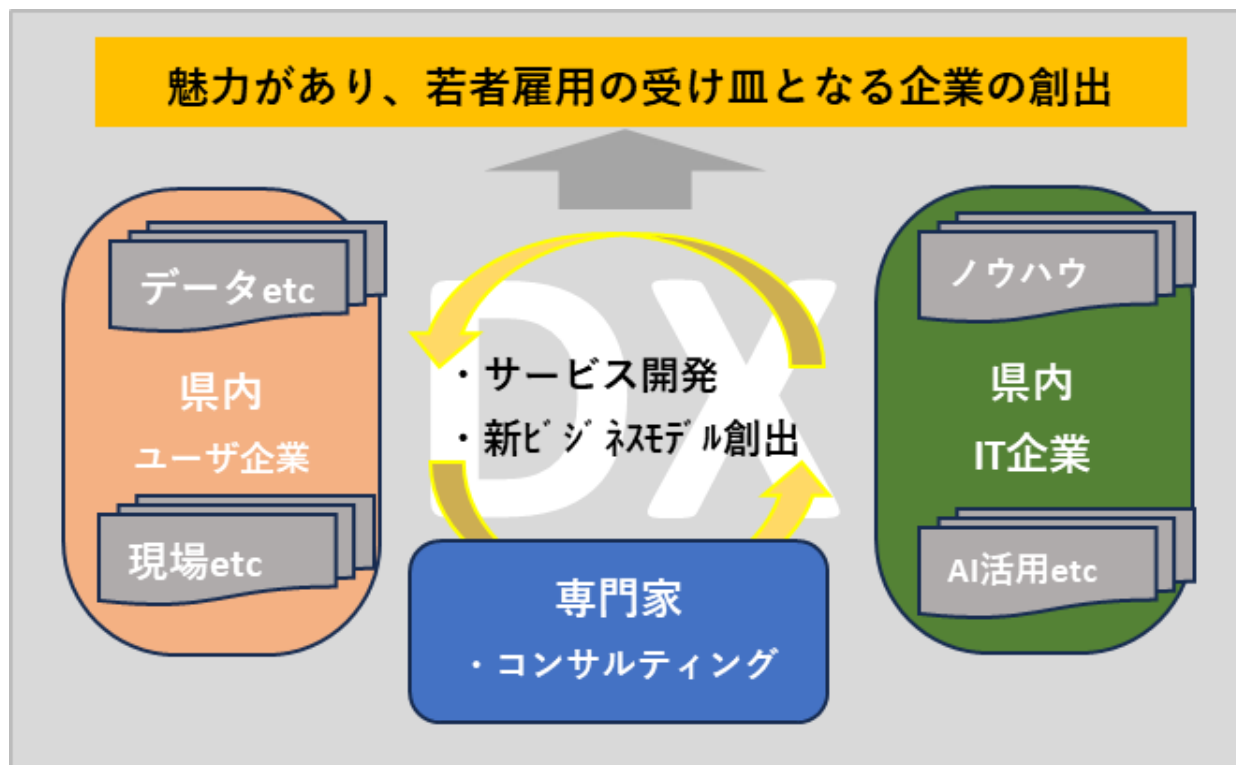


③専門家のコンサルティングを通して、課題の
整理、潜在的事業アイデアブラッシュアップ



④県内IT企業又は県内ユーザ企業の新規事業
をモデルケースとして作り出す

事業イメージ図



モデル事業実施→助成金を新設予定

2.IT活用事業化支援助成事業

ITを活用した新たなサービス・製品を創出する際の経費の一部を助成

1. 各段階に応じて最高300万円を助成(助成率:対象経費の1/2)
2. 助成対象経費:人件費、旅費、調査外部委託費、機器購入費等

第1段階

リサーチ助成

アイデアの市場性を検討するため、市場リサーチや顧客になり得る対象へのインタビュー等実施



第2段階

プロトタイプ 検証助成

新たなサービス・製品のプロトタイプを利用してもらい、検証結果をもとに、事業アイデアの改良・軌道修正を実施

第3段階

サービス・製品 開発助成

新サービス・製品を本格的に市場に投入していくための開発を実施



サービス・
製品創出

3.開発ソフトウェア・サービス販路拡大支援助成金

県内企業が自社で開発したソフトウェア製品等の販路を拡大するため、県外市場での新規顧客開拓等を目指す取り組みを支援

1. 助成対象となる事業

中期的な販売計画に基づき、開発ソフトウェアの販路拡大を目的として実施する、県外で開催される展示会等への出展・これと連携して行う県外での営業活動旅費、Webマーケティングに関する費用などを助成。

2. 助成率

助成対象経費の1/2以内

3. 助成限度額

150万円

4. 助成期間

交付決定日から1年以内

5. 助成対象経費

展示会等会場借料、Webマーケティングに係る経費、旅費等



4. 「ITOC X-Techラボ」 IT企業による異業種訪問

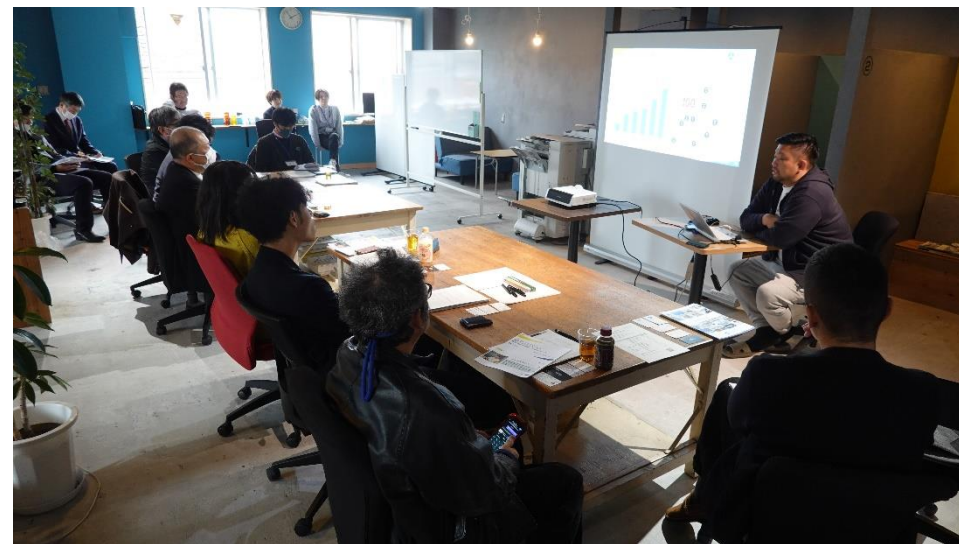
既存企業とIT企業を結びつけ、新たな事業創出を目指す



R5年度協力フィールド：
(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム

企業紹介：島根発の、高校魅力化による地域創生プロジェクトである地域みらい留学を全国に展開

テーマ：地域創生 × IT



当日の様子

5.XR・ドローン利活用支援

「ITOCminiLab」と称して、XR(VR/AR/MR)技術やドローン等の機器を整備し、島根県内の事業者と共同で利活用することで、新製品・サービス創出を支援。

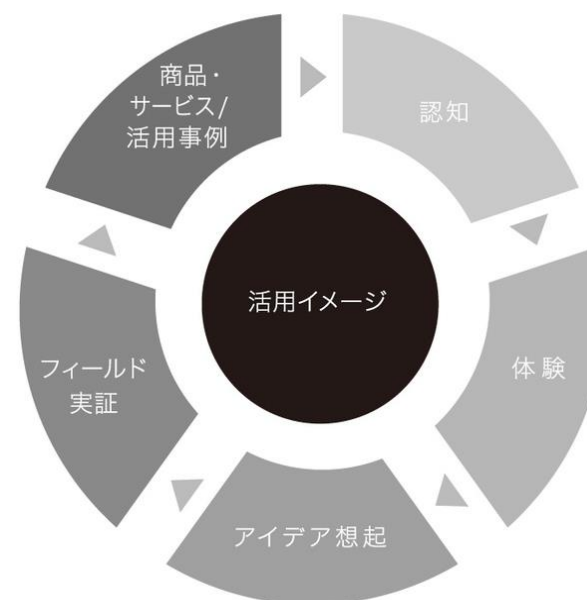
ITOCminiLab.
We research with you.



様々な最先端テクノロジーのツール類を、
実際に手にとって実験できる形でITOCに用意します。

これらをITOCとともに活用いただくことで、
皆さまが描いているアイデアが「現場とどうつながるのか」

「どう活用し得るのか」を確認して、
新たなビジネスにつなげていただくことを目指します。



6.mruby/cを核としたIoT分野支援

ITOCと九州工業大学が共同で研究開発を行っている小型IoTデバイス向けプログラミング言語「mruby/c」を2016年より開発。mruby/cを核として、組込み/IoT製品・サービス創出を支援。

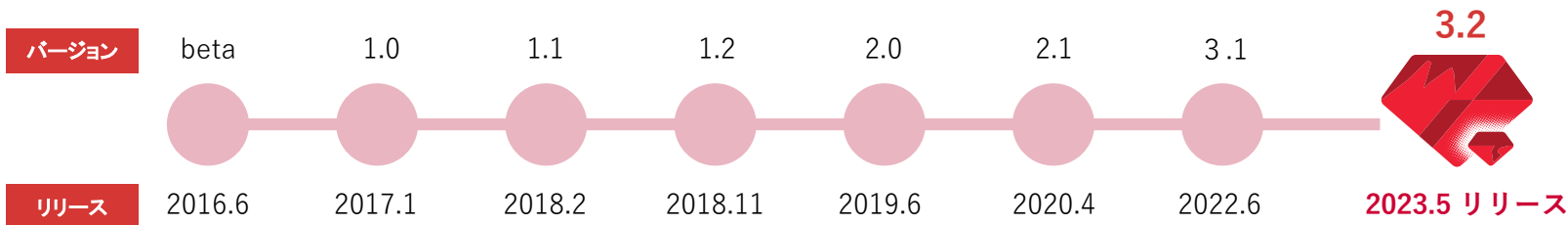
1. mruby/cの開発と製品実装に向けた技術支援
2. 組込み/IoT製品・サービスに関する課題解決に向けた相談対応

mruby/cの開発段階

mruby/c 2.0と比較して

mruby/c
3.x バージョン

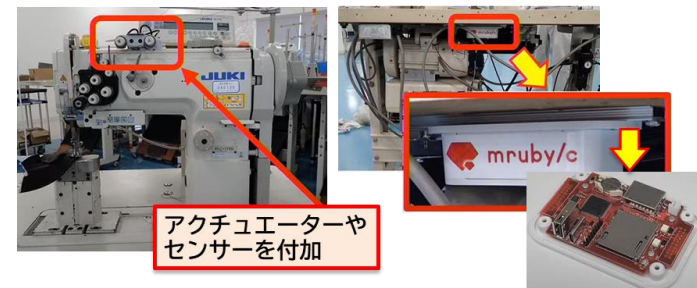
- ・プログラムの実行速度を1.5～1.8倍の高速化を実現
- ・メモリ使用量を約6割低減し、大幅な省メモリ化の実現
- ・Ruby3.0系およびmruby3.1に準拠した内部変更（クラス統合他）
- ・キーワード引数を機能実現



JUKI松江(株)での活用例

自動車用シートの縫い不良を低減するオプション装置を開発

- ✓ マイコンボード自体を自社開発。
- ✓ 「mruby/c」を採用し、オプション装置のプログラム開発効率が向上。



7.人材育成支援

事業創出にフォーカスし、生成AI、クラウド等の最新テクノロジー等に関する講座やセミナーをはじめ実践的な人材育成講座を開催。

参考：令和5年度開催講座（例）

デザイン思考 ワークショップ

@2023

新規事業創出や事業・業務改善をお考えの方

2023年
11月17日 金

13:30
|
17:00

会場
松江市西茶町 40-1 ニューフー

講師
フェンリル株式会社





AWS 活用事例から
ビジネスと技術 を 学ぶ
 ～中の人語るアーキテクチャとその裏側～

参加費 **無料**
 定員 **20名**

令和5年 **10月20日** 金



人材育成支援

デザインハンズオン講座

参加費 無料

【参加対象】 島根県内企業のデザイナー・県内在住のフリーデザイナー、
デザインを学んでいる学生の方、企画制作に興味ある方、
企画制作の仕事に携わっている方

当日はこんなことを実施します

- コピー、フレームワーク作りの考え方を学び、作成します。
- ChatGPTを活用したアイデア出しを学びます。
- バナー作りの考え方を学び、制作します。
- 参加者同士で発表をして多角的に学びを得ます。
- 参加者同士が交流できます。

こんな方におすすめ！

- 企画制作に興味ある方
- 企画制作の仕事に携わっている方
- 業務等でデザインを担当されている方
- デザインを学ばれている方
- デザインや企画制作に興味がある方

● 講師

渡辺 淳氏

【ヤフー株式会社】

事業推進統括室 マーケティング統括本部
クリエイティブ推進部 部長
兼務CEO未来クリエイティブセンター

岡 直哉氏

【ヤフー株式会社】

CEO未来クリエイティブセンター
センター長
第12代ビジュアルデザイン黒帯

2
DAYS

◀両日参加が前提となります。

● 地域課題からの企画作り

DAY 1

9月6日 水

14:00

令和 5年

17:00

● アイディアを形にするデザイン

DAY 2

9月7日 木

14:00

令和 5年

18:00

会場

enun [緑室]

定員10名 ※先着順

ショップ(会場参加者専用)
ワークキング



公益財団法人 しまね産業振興財団
しまねソフト研究開発センター
SHIMANE IT QIP-INNOVATING CENTER

DX推進に向けた データプランナー育成講座

～データを読み解き、顧客に新たな価値を提案できるスキルを習得～



しずきソフト 研究開発センター
shizuki software center

知識がなくても大歓迎!

マーケティングもチームで回せ!

～ゲームも通じた学びの一步～
(アジャイル)

Agile活用マーケティング講座

こんなことを実施します!

- 行動の成果から次の行動を生み出すプロセスのチームの運営方法
- マーケティングの目標 (KPI) の設定方法
- ファンを増やすための企業の生き出し方、育て方
- 目標から、チームの行動に落とし込む方法

このような方々におすすめ!

- 営業、企画、マーケティング、マネジメント業務に携わっている方
- エンジニアやデザイナー等でスキルを伸ばしたい方
- 商売を伸ばしたい、見込み顧客を増やす、能力をアピールすることに関心のある方

定員
限定 10名

定員に限り受け付けを終了いたします。

【申込め切】 2023.11.29 (水) 17:00まで

【有料】 (10,000円/1人)

日時

2023.12.1 (金)

受付 8:45頃予定

会場 enun 緑蔵 (松江市西栗町 40-1 松江ニューアークホテル3F)

講師 氏名

株式会社和システム マネジメント

副講師 氏名

ファイナルコースト / KPIA エンジニアリスト

【講師】

株式会社和システム マネジメント

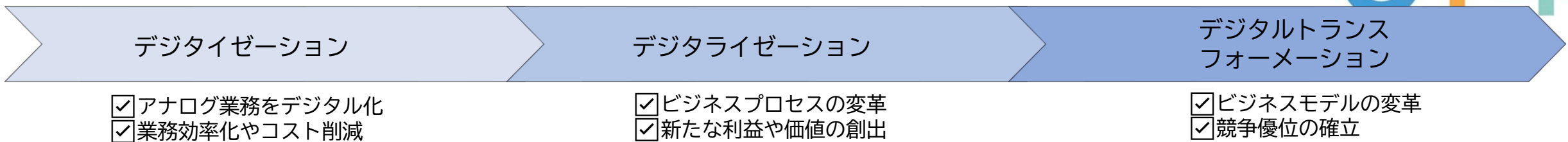
氏名 部長 氏名

ファイナルコースト / KPIA エンジニアリスト

2001 年に、システム・ソフトウェア・デザイン (SD) 事業として、チームで創業した和システム。当時から顧客のニーズを的確に把握し、提供し、顧客の成長を支援する活動を通じて、チームでできる「アジャイル」となるべく、Agile Studio の開発・運用・継続力向上に取り組んでいます。

8.しまねDX推進事業

- 労働人口の減少や市場ニーズの変化、さらには新型コロナウイルスの影響など経営環境は大きく変化。
- 環境変化に適応するため、組織・仕組み・サービスをデジタルヘシフトし、差別化・競争優位の確立が必要。
- **しまねDX推進事業**では、県内企業のデジタル・DX化のステージに合った支援を実施。



しまねDX推進事業

IT経営相談会

IT導入の専門資格を有するITコーディネータが、毎月2回、県内企業のITに関する困りごとや、ITツールの選定などのデジタル化に向けた相談会を実施。

Webマーケティング相談会

Webマーケティングに関する専門家が、毎月2回、県内企業のWebを活用した自社商品・サービスの認知拡大や販売促進に関するお困りごとなどに対する相談会を実施。

専門家派遣事業

県内企業のデジタル化のモデルとなる取り組みについて、デジタル導入の専門家を派遣し、その企業の戦略的なデジタル導入に向けたアドバイスを行います。



9.しまねデジタルイノベーション伴走支援助成金

しまねデジタルイノベーション推進専門家派遣事業の活用後に、引き続き専門家の指導・助言を受ける場合に要する経費の一部を助成

1. 助成対象となる事業

デジタル導入計画策定、導入、運用・定着のスキームにおいて、しまねデジタルイノベーション推進専門家派遣事業を活用した専門家派遣後に、引き続き民間の専門家を活用して計画策定、導入、運用(保守は除く)・定着レベルを引き上げる事業であって、かつ対象事業者の自走に向けた活動に資する事業

2. 助成率

助成対象経費の1/2以内

3. 助成限度額

30万円

4. 助成期間

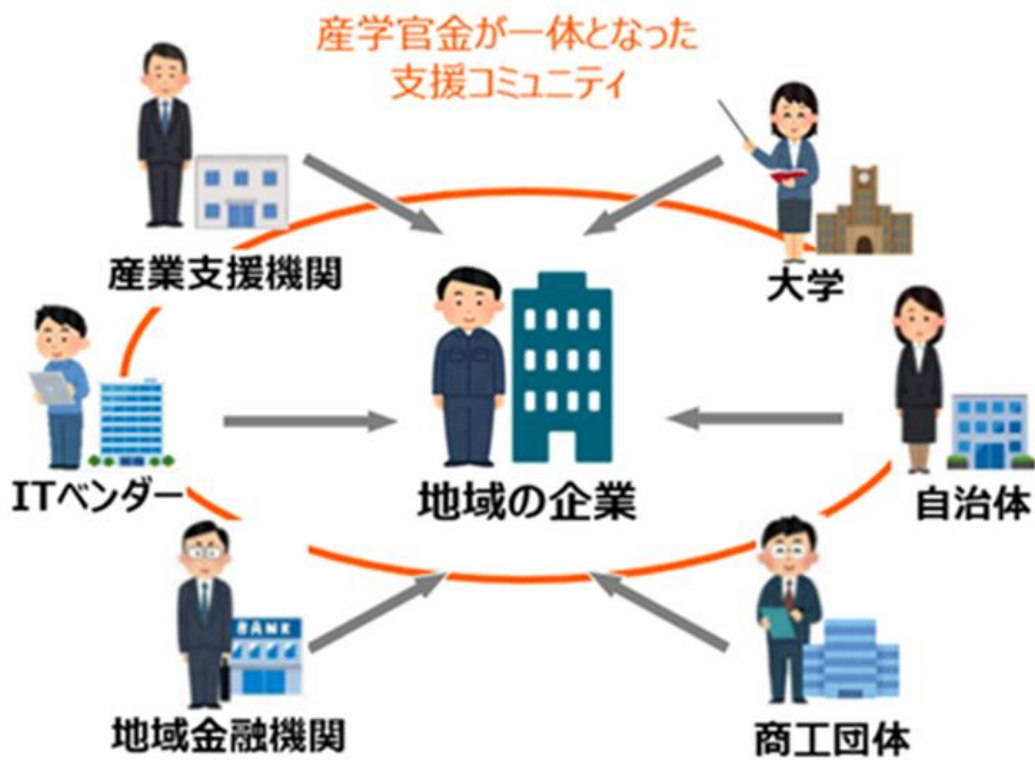
交付決定日から1年以内

5. 助成対象経費

専門家に支払われる謝金、専門家に支払われる旅費

10. しまね地域DX拠点事業

島根県内の産学金官が連携した構成員体制「しまね地域DX拠点」を設置し、DX推進に向けた課題分析・戦略策定の伴走型支援を実施。



令和4年度に経済産業省の事業採択

地域ぐるみで地域企業のDX実現を支援するため、地域の産学金官が参画する支援コミュニティを立ち上げ。

令和6年度しまね地域DX拠点の実施内容

当コミュニティの活動を継続して下記事業を実施予定

①先駆的モデル事例創出 10モデル

・DX計画策定を拠点構成員で伴走支援

②チャレンジ企業支援 20企業

・デジタルの試験導入を行い、デジタル化の検討をサポート

※県内企業に対して支援を行う拠点構成員を、

新たに島根県情報産業協会会員企業を対象に、公募をする予定。